

きに小さく、50~60 mm までは増加が僅かであるが、この値をこす雨量になると急増している。

9. 奥多摩における自然保護運動

鈴木 貫太 (多摩川上流の自然を守る会)

48年8月天祖山開発の許可が出て、同地区の開発が行われた。この結果生じた奥多摩の荒廃、特に河川への土砂流出と災害について述べるとともに地域開発と環境問題について自然保護の立場から説明したい。

10. 中部・東北山岳域の雪窟地形と植生について

小岩 清水 (専修大学付属高校)

中部・東北の雪窟地形と植生について調査を行った。その結果、かつての寒冷気候の卓越時代に拡大した雪窟のすべては、現在その活動が微弱となり、裸地であったところは周辺の植物が拡大侵入し被覆が進み、融雪水の流路や雪窟礫地であったところは埋没しつつある。また前年までの各域の環境とも密接な関連が認められたので報告したい。

第18期第15回常任理事会議事録

日時 昭和51年3月15日(月) 14.00~16.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野, 小平, 浅井, 朝倉, 大井, 奥田, 高橋, 丸山, 各常任理事, 川村理事

報告

[庶務]

- 3月3日(財)日産科学振興財団から、推薦学術研究の助成決定通知ならびに研究助成金贈呈式の案内がきた。(助成金受領代表研究者 石川晴治会員, 贈呈式3月24日, 於銀座東急ホテル)
- 3月12日, 当学会中部支部長から昭和51年度秋季全国大会の会場等について通知がきた。(10月21日~23日, 於愛知県産業貿易館)

[学術用語]

既刊された用語集について各方面から種々の訂正すべき点について意見が出されている。これらをまとめて会員の意見を求めたい。また、解説のための小辞典も考慮している。

議題

1. 総会提出議題について

- (1) 学会賞, 藤原賞の賞金の増額について

1件5万円を7万円にする。

- (2) 山本義一会員を名誉会員に推薦することについて

長年理事としてまた理事長として学会の維持運営に努められ、かつ教育者として気象教育の普及発展に尽力された功績により名誉会員に推薦したい。

2. 夏季大学運営の申送り事項について

気象学の普及に関する新しい委員会を作ること。

3. 事務局職員について

経理担当の梁田光枝夫人が都合により3月末日で辞職、代りに佐藤太氏を4月1日から正式に採用することを了承。ただし梁田夫人は、会計監査が4月に行われるため1ヵ月延ばすことを了承。

承認事項 堀江安男ほか15名の入会を承認